

関係各位

2023年7月19日

株式会社パテント・リザルト

## 【窯業】他社牽制力ランキング 2022

### トップ3はAGC、TOTO、日本ガイシ

弊社はこのほど「窯業業界」の特許を対象に、2022年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「窯業業界 他社牽制力ランキング 2022」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2022年に最も引用された企業は、1位 AGC、2位 TOTO、3位 日本ガイシとなりました。

#### 【窯業業界 他社牽制力ランキング 2022 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	AGC	1,088
2位	TOTO	501
3位	日本ガイシ	424
4位	日本特殊陶業	409
5位	LIXIL	388
6位	日本板硝子	252
7位	CORNING	241
8位	日本電気硝子	225
9位	太平洋セメント	219
10位	住友大阪セメント	186

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2022年12月までに公開された全特許のうち、2022年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2023年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **A G C**の最も引用された特許は「地球温暖化への影響を十分に抑えた熱サイクルシステム用組成物」に関する技術で、ダイキン工業の計 21 件の審査過程で引用されています。このほかには「近赤外線遮蔽効果を有する光学フィルタ」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、J S Rなどの計 8 件の拒絶理由として引用されています。

2022 年に、A G C の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はダイキン工業 (104 件)、次いで日本電気硝子 (66 件)、CORNING (46 件) となっています。

2位 **T O T O**の最も引用された特許は「便座裏面も洗浄水で洗浄可能とする水洗便器」に関する技術で、L I X I L の計 6 件の審査過程で引用されています。このほか「衛生洗浄装置を洋式便器の上部後背部に取付けるための取付装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、パナソニックホールディングスの計 6 件の拒絶理由として引用されています。

2022 年に、T O T O の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は L I X I L (122 件)、次いでパナソニックホールディングス (35 件) です。

3位 **日本ガイシ**の最も引用された特許は「圧電性材料基板と単結晶からなる支持基板とを接合する方法」に関する技術で、太陽誘電など計 4 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2022 年に、日本ガイシの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は日本特殊陶業 (30 件)、次いでデンソー (22 件)、京セラ (16 件) となっています。

4位 **日本特殊陶業**は「静電チャック」、5位 **L I X I L** は「トイレに関する情報を提供する情報提供装置及び情報提供プログラム」が、最も引用された特許として挙げられます。

\* \* \*

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

#### 【窯業業界 他社牽制力ランキング 2022 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください)

・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング

・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : [info@patentresult.co.jp](mailto:info@patentresult.co.jp)